

# ○放射線学：621-3-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	*伊東 浩太郎 (放射線学)

学修目標 (GIO) と 単位数	<p>・単位数： 4単位</p> <p>・学修目標 (GIO)： 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、各種撮影法の原理や画像診断および防護に係る知識、技能を修得する。</p>
担当教員	<p>*伊東 浩太郎、*徳永 悟士、*村岡 宏隆、*大塚 航平、*小松 知広、*廣島 彰哉、*金田 隆、*飯塚 紀仁、*板倉 剛、一木 俊吾、岩崎 正、*岩田 光司、*岡田 俊也、岡田 素平太、*小川 秀仁、*小椋 一朗、小倉 千春、*小澤 薫、*加藤 尊巳、*加藤 嘉哉、大木 忠明、*近藤 匠、*櫻田 雅彦、*田中 諭、*月岡 庸之、*堤 豊重、*能田 茉莉江、*原 慶宜、*平原 尚久、*福田 大河、*松下 寛、*箕輪 和行、*村松 輝晃、*山城 光明、池田 耕士、日野 絵理、小日向 裕太、*渥美 龍雅</p>
教科書	<p>歯科放射線学実習書 日本大学松戸歯学部 放射線学講座編 歯科放射線学 第7版 岡野友宏、小林馨、有地榮一郎 医歯薬出版 Case Based Review 顎口腔領域の疾患 金田 隆、久山佳代 永末書店</p>
参考図書	<p>歯科放射線診断 teaching file 金田 隆、倉林 亨 砂書房 Q&amp;A で学ぶ歯科放射線学：SBOs 講義 金田 隆 学研書院 画像でみる歯科放射線(CDR) 金田 隆、井出吉信 わかば出版</p>
評価方法 (EV)	<p>講義：授業時間内に行う画像診断試験1 (20%)，画像診断試験2 (30%)，平常試験 (50%) によって評価点とする。試験結果を参照し講評および到達度・改善点をフィードバックする。試験結果に応じて、補講や再試験などの措置を講じることがある。再試験の追・再試験ならびに追試験の追・再試験は行わない。また、画像診断試験の追・再試験は行わない。</p> <p>実習：実習中に実施する小テスト (20%)，実習評価 (30%)，歯科放射線学実習試験 (50%) によって評価点とする。試験結果を参照し講評および到達度・改善点をフィードバックする。試験結果に応じて、補講や再試験などの措置を講じることがある。小テストの追・再試験は行わない。</p> <p>最終評価は、講義 (50%)，実習 (50%) の割合とする。</p> <p>授業および実習それぞれに対して4/5を超えた出席を必要とする。授業または実習を1/5以上欠席した者は、授業の平常試験または実習の実習 (実技) 試験のそれぞれの再試験受験資格を喪失する。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	放射線学は歯科臨床に必須の学問である。毎回興味を持って取り組んでもらいたい。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/08 (水) 1時限 09:00~10:30	放射線の歴史と画像検査の意義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、放射線の歴史と画像検査の意義を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 放射線がいつ誰によって発見されたか説明できる。 2. 放射線の医療利用について列挙できる。 3. 画像検査の目的と意義を説明できる。 4. 放射線の種類について説明できる。 5. 電離放射線について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯科における画像検査の意義を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 a 放射線の性質と作用</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ④エックス線画像の形成原理 (画像不良の原因と含む) を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎
2026/04/09 (木) 1時限 09:00~10:30	【第1クール】 放射線の測定と生物学的影響 (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、放射線防護の知識と手技を修得する。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
		<p>【行動目標 (SBOs)】 1. 線量測定を行うことができる。 2. 除染ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 放射線防護が説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (フィールドワーク) 学修媒体：プレテスト、ポストテスト、マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ウ 医療放射線被曝の防護と管理 b 患者と医療従事者の放射線防護</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ②放射線の人体 (胎児を含む) への影響の特徴 (急性影響と晩発影響等) を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。</p>	<p>*小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *瀧美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太</p>
<p>2026/04/09 (木) 2時限 10:40～12:10</p>	<p>実習：各回の実習は、班毎にローテートして行うので注意すること。(実習は第1, 2, 3グループの3回に分けて実施する。) 放射線の測定と生物学的影響 (A班)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、放射線防護の知識と手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 線量測定を行うことができる。 2. 除染ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 放射線防護が説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (フィールドワーク) 学修媒体：プレテスト、ポストテスト、マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ウ 医療放射線被曝の防護と管理 b 患者と医療従事者の放射線防護</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ②放射線の人体 (胎児を含む) への影響の特徴 (急性影響と晩発影響等) を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。</p>	<p>*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *瀧美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太</p>
<p>2026/04/15 (水) 1時限 09:00～10:30</p>	<p>エックス線の発生と歯科用エックス線撮影装置</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、エックス線の発生と歯科用エックス線撮影装置について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. エックス線の発生について説明できる。 2. エックス線と物質の相互作用について説明できる。 3. エックス線の減弱について説明できる。 4. 歯科用エックス線撮影装置の原理や構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 エックス線の性質について説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*伊東 浩太郎</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/15 (水) 1時限 09:00～10:30	エックス線の発生と歯科用エックス線撮影装置	<p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 a 放射線の性質と作用</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ④エックス線画像の形成原理（画像不良の原因と含む）を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎
2026/04/16 (木) 1時限 09:00～10:30	口内法エックス線撮影および読影実習（A班）	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口内法エックス線検査の知識や手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口内法撮影の手順が説明できる。 2. 正しいフィルムの位置付けができる。 3. 二等分法が説明できる。 4. 正放線投影が説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口内法が説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線撮影</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/04/16 (木) 2時限 10:40～12:10	口内法エックス線撮影および読影実習（A班）	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口内法エックス線検査の知識や手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口内法撮影の手順が説明できる。 2. 正しいフィルムの位置付けができる。 3. 二等分法が説明できる。 4. 正放線投影が説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口内法が説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、ディスカッション、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線撮影</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/16 (木) 2時限 10:40~12:10	口内法エックス線撮影および読影実習 (A 班)		*伊東 浩太郎 *岡 宏隆 *村 悟士 *徳永 知広 *小松 航平 *大塚 彰哉 *廣 隆 *嶋田 紀仁 *飯塚 剛 *板倉 俊吾 一木 正 岩崎 光司 *岩田 俊也 *岡田 素平 岡田 仁 小川 朗春 小椋 千春 小倉 薫 小澤 已哉 加藤 嘉 加藤 匠 *近藤 雅彦 *櫻田 論 田中 庸之 月岡 重 堤 重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/04/22 (水) 1時限 09:00~10:30	エックス線フィルムと現像処理・エックス線画像の幾何学的関係、デジタル画像システム・検査における医療情報	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、エックス線フィルムと現像処理・エックス線画像の幾何学的関係を理解する。 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、デジタル画像システム・検査における医療情報を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. エックス線フィルムについて説明できる。 2. 現像処理について説明できる。 3. エックス線像の幾何学的関係を列挙できる。 4. 鮮鋭度について説明できる。 5. 黒化度曲線について説明できる。 6. デジタルエックス線撮影法の原理を説明できる。 7. デジタルエックス線撮影法の利点、欠点を説明できる。 8. DICOM およびPACS の臨床応用について説明できる。 9. HIS およびRIS について説明できる。 10. 医用画像の通信について利点および欠点を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 エックス線画像の特徴を説明できる。 デジタルエックス線検査とは何かを説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 b エックス線撮影装置、検出器、撮影補助器材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ④エックス線画像の形成原理 (画像不良の原因と含む) を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎
2026/04/23 (木) 1時限 09:00~10:30	口内法エックス線写真のマウントと正常画像解剖 (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口内法エックス線写真のマウントと正常画像解剖の知識と手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 14 枚法のマウントができる。 2. 口内法エックス線写真のトレースができる。 3. 口内法エックス線写真の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口内法エックス線写真の正常画像解剖が説明できる。 予習30分</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣 彰哉 *嶋田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/23 (木) 1時限 09:00～10:30	口内法エックス線写真のマウントと正常画像解剖 (A班)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，反転授業，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線撮影</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	<p>*岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗春 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太</p>
2026/04/23 (木) 2時限 10:40～12:10	口内法エックス線写真のマウントと正常画像解剖 (A班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために，口内法エックス線写真のマウントと正常画像解剖の知識と手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 14 枚法のマウントができる。 2. 口内法エックス線写真のトレースができる。 3. 口内法エックス線写真の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口内法エックス線写真の正常画像解剖が説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，反転授業，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線撮影</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	<p>*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光也 *岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗春 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太</p>
2026/04/30 (木) 1時限 09:00～10:30	放射線の生物学的作用	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な治療および管理ができるようになるために，放射線の生物学的作用・放射線治療を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. Bergonie-Tribondeau の法則を説明できる。 2. 放射線感受性について説明できる。 3. LET とRBE について説明できる。 4. 外部照射と組織内照射を説明できる。 5. 放射線治療による障害を説明できる。 6. 陽子線治療と強度変調放射線治療 (IMRT) を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 放射線の生物学的作用および放射線治療の適応となる疾患を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分 マルチメディア，プリント</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 c 放射線の防護・管理</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	<p>*徳永 悟士</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/30 (木) 1時限 09:00~10:30	放射線の生物学的作用	E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ②放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。	*徳永 悟士
2026/05/07 (木) 1時限 09:00~10:30	エックス線CT (A班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、CTの知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. CT の原理を説明できる。 2. CT の正常解剖を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 CT が説明できる。 予習30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 有, 反転授業, 予習30分, プレテスト, ポストテスト マルチメディア, 実習書  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 オ CT a 原理、特徴、適応  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imagin g <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛吾 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/05/07 (木) 2時限 10:40~12:10	エックス線CT (A班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、CTの知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. CT の原理を説明できる。 2. CT の正常解剖を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 CT が説明できる。 予習30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 有, 反転授業, 予習30分, プレテスト, ポストテスト マルチメディア, 実習書  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 オ CT a 原理、特徴、適応  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imagin g <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛吾 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/05/13 (水) 1時限 09:00~10:30	放射線の影響・放射線の防護と管理と法規	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、放射線の影響・放射線の防護と管理を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 放射線の影響について説明できる。 2. 放射線に関する単位について説明できる。 3. 放射線防護の3原則を説明できる。 4. ICRP 勧告を説明できる。 5. 職業被曝と管理区域について説明できる。 6. 放射線の測定について説明する。 7. 被曝に関する歯科医師法を説明する。	*徳永 悟士

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/13 (水) 1時限 09:00～10:30	放射線の影響・放射線の防護と管理法規	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 放射線防護の種類を列挙できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 c 放射線の防護・管理</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ②放射線の人体（胎児を含む）への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。</p>	*徳永 悟士
2026/05/14 (木) 1時限 09:00～10:30	歯科用コンビームCT (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、歯科用コンビームCTの知識や手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. CBCT の原理を説明できる。 2. CBCT の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯科用コンビームCTが説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、反転授業、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 オ CT a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/05/14 (木) 2時限 10:40～12:10	歯科用コンビームCT (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、歯科用コンビームCTの知識や手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. CBCT の原理を説明できる。 2. CBCT の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯科用コンビームCTが説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、反転授業、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 オ CT a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/14 (木) 2時限 10:40~12:10	歯科用コーンビームCT (A 班)	E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/05/20 (水) 1時限 09:00~10:30	放射線治療	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な治療および管理ができるようになるために、放射線の生物学的作用・放射線治療を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. Bergonie-Tribondeau の法則を説明できる。 2. 放射線感受性について説明できる。 3. LET とRBE について説明できる。 4. 外部照射と組織内照射を説明できる。 5. 放射線治療による障害を説明できる。 6. 陽子線治療と強度変調放射線治療 (IMRT) を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 放射線治療の適応となる疾患を説明できる。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 c 放射線の防護・管理  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ②放射線の人体 (胎児を含む) への影響の特徴 (急性影響と晩発影響等) を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。	*徳永 悟士
2026/05/21 (木) 1時限 09:00~10:30	インプラントシミュレーション (A 班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、インプラントシミュレーションの知識や手技を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. インプラントのための正常解剖を説明できる。 2. インプラントシミュレーションができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 インプラントシミュレーションが説明できる。 予習30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、反転授業、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書マルチメディア、実習書  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ インプラント義歯の設計 b 埋入計画の立案  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/05/21 (木) 2時限 10:40~12:10	インプラントシミュレーション (A 班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、インプラントシミュレーションの知識や手技を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. インプラントのための正常解剖を説明できる。 2. インプラントシミュレーションができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 インプラントシミュレーションが説明できる。 予習30分	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/21 (木) 2時限 10:40～12:10	インプラントシミュレーション (A 班)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，反転授業，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ インプラント義歯の設計 b 埋入計画の立案</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	<p>*岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗春 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳哉 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太</p>
2026/05/27 (水) 1時限 09:00～10:30	平常試験	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切なエックス線検査や機器の管理ができるようになるために、放射線の原理や特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 放射線について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ここまでの講義内容についての試験。遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 2 画像検査 ア エックス線画像の原理 b 放射線の単位・測定</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ②放射線の人体 (胎児を含む) への影響の特徴 (急性影響と晩発影響等) を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。 ④エックス線画像の形成原理 (画像不良の原因を含む) を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。</p>	<p>*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平</p>
2026/05/28 (木) 1時限 09:00～10:30	〔第2クール〕パノラマエックス線検査 (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、パノラマエックス線検査の知識と手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. パノラマエックス線撮影の手順が説明できる。 2. パノラマエックス線撮影の原理が説明できる。 3. パノラマエックス線撮影の失敗原因を説明できる。 4. パノラマエックス線像の障害陰影が説明できる。 5. パノラマエックス線像のトレースができる。 6. パノラマエックス線像の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 パノラマエックス線検査が説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (グループワーク) 学修媒体：プレテスト，ポストテスト，マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 c パノラマエックス線撮影</p>	<p>*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗春 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳哉 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/28 (木) 1時限 09:00～10:30	〔第2クール〕パ ノラマエックス線 検査 (A 班)	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。	池田 耕士 * 渥美 龍雅 * 平原 尚久 小日向 裕太
2026/05/28 (木) 2時限 10:40～12:10	〔第2クール〕パ ノラマエックス線 検査 (A 班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、パノラマエックス線検査の知識と手技を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. パノラマエックス線撮影の手順が説明できる。 2. パノラマエックス線撮影の原理が説明できる。 3. パノラマエックス線撮影の失敗原因を説明できる。 4. パノラマエックス線像の障害陰影が説明できる。 5. パノラマエックス線像のトレースができる。 6. パノラマエックス線像の正常解剖を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 パノラマエックス線検査が説明できる。 予習30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (グループワーク) 学修媒体：プレテスト、ポストテスト、マルチメディア、実習書  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 c パノラマエックス線撮影  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。	* 伊東 浩太郎 * 村岡 宏隆 * 徳永 悟士 * 小松 知広 * 大塚 航平 * 廣島 彰哉 * 金田 隆 * 飯塚 紀仁 * 板倉 剛吾 一木 俊吾 岩崎 正 * 岩田 光司 * 岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 * 近藤 匠 * 櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 * 原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 * 村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 * 渥美 龍雅 * 平原 尚久 小日向 裕太
2026/06/03 (水) 1時限 09:00～10:30	口内法エックス線 検査、口外法エッ クス線検査	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、口内法エックス線検査および口外法エックス線検査を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 口内法の種類を列挙できる。 2. 口内法の撮影法を説明できる。 3. 口内法の利点および欠点を説明できる。 4. 口内法エックス線画像の正常解剖および病的所見が読影できる。 5. 口外法の種類を列挙できる。 6. 口外法の撮影法を説明できる。 7. 口外法の利点および欠点を説明できる。 8. 口外法エックス線画像の正常解剖および病的所見が読影できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 口内法エックス線検査および口外法エックス線検査とは何かを説明できる。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 d エックス線撮影 (口内法エックス線撮影、パノラマエックス線撮影)  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。	* 徳永 悟士
2026/06/04 (木) 1時限 09:00～10:30	顔面頭蓋部撮影の 正常画像解剖実習 (A 班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、顔面頭蓋部撮影の知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】	* 伊東 浩太郎 * 村岡 宏隆 * 徳永 悟士 * 小松 知広 * 大塚 航平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/04 (木) 1時限 09:00～10:30	顔面頭蓋部撮影の 正常画像解剖実習 (A 班)	<p>1. PA, Waters 写真のトレースができる。 2. PA, Waters 写真の正常解剖を理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顔面頭蓋部撮影が説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，トレース実習，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 d 顎顔面頭蓋部エックス線撮影</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。</p>	<p>* 廣島 彰哉 * 金田 隆 * 飯塚 紀仁 * 板倉 剛 * 一木 俊吾 岩崎 正 * 岩田 光司 * 岡田 俊也 岡田 素平 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊 加藤 嘉哉 * 近藤 匠 * 櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 * 原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 * 村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理士 池田 耕士 * 渥美 龍雅 * 平原 尚久 小日向 裕太</p>
2026/06/04 (木) 2時限 10:40～12:10	顔面頭蓋部撮影の 正常画像解剖実習 (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために，顔面頭蓋部撮影の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. PA, Waters 写真のトレースができる。 2. PA, Waters 写真の正常解剖を理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顔面頭蓋部撮影が説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，トレース実習，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 d 顎顔面頭蓋部エックス線撮影</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。</p>	<p>* 伊東 浩太郎 * 村岡 宏隆 * 徳永 悟士 * 小松 知広 * 大塚 航平 * 廣島 彰哉 * 金田 隆 * 飯塚 紀仁 * 板倉 剛 * 一木 俊吾 岩崎 正 * 岩田 光司 * 岡田 俊也 岡田 素平 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊 加藤 嘉哉 * 近藤 匠 * 櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 * 原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 * 村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理士 池田 耕士 * 渥美 龍雅 * 平原 尚久 小日向 裕太</p>
2026/06/10 (水) 1時限 09:00～10:30	パノラマエックス 線検査	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために，パノラマエックス線検査を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. パノラマエックス線検査の撮影原理が説明できる。 2. パノラマエックス線検査の利点および欠点が説明できる。 3. パノラマエックス線画像の正常解剖および病的所見が読影できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 パノラマエックス線検査とは何かを説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分 マルチメディア，プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 d エックス線撮影（口内法エックス線撮影、パノラマエックス線撮影）</p>	<p>* 徳永 悟士</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/10 (水) 1時限 09:00～10:30	パノラマエックス線検査	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-1 診療の基本</p> <p>E-1-2) 画像検査を用いた診断</p> <p>⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。</p> <p>⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	*徳永 悟士
2026/06/11 (木) 1時限 09:00～10:30	デジタルエックス線撮影法 (A 班)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、デジタルエックス線撮影法の知識と手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. デジタルエックス線撮影法の原理を説明できる。</p> <p>2. デジタル口内法エックス線撮影装置の操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>デジタルエックス線撮影法が説明できる。</p> <p>予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：有，反転授業，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 a コントラストと分解能</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-1 診療の基本</p> <p>E-1-2) 画像検査を用いた診断</p> <p>⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。</p> <p>⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/06/11 (木) 2時限 10:40～12:10	デジタルエックス線撮影法 (A 班)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、デジタルエックス線撮影法の知識と手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. デジタルエックス線撮影法の原理を説明できる。</p> <p>2. デジタル口内法エックス線撮影装置の操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>デジタルエックス線撮影法が説明できる。</p> <p>予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：有，反転授業，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 a コントラストと分解能</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-1 診療の基本</p> <p>E-1-2) 画像検査を用いた診断</p> <p>⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。</p> <p>⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。</p> <p>⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/06/17 (水) 1時限 09:00～10:30	CT	<p>【授業の一般目標】</p> <p>将来歯科医師として適切なCT検査や機器の管理ができるようになるために、CTの原理や特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. CT の原理を説明できる。</p> <p>2. CT の障害陰影を列挙し，説明できる。</p> <p>3. CT の利点および欠点を説明できる。</p> <p>4. CT 画像の正常解剖および病的所見が読影できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p>	*徳永 悟士

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/17 (水) 1時限 09:00～10:30	CT	<p>CT とは何かを説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 e CT（単純、造影）、歯科用コーンビームCT</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*徳永 悟士
2026/06/18 (木) 1時限 09:00～10:30	MRI (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、MRI の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. MRI の原理を説明できる。 2. MRI の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 MRI が説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、反転授業、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 カ MRI a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/06/18 (木) 2時限 10:40～12:10	MRI (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、MRI の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. MRI の原理を説明できる。 2. MRI の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 MRI が説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、反転授業、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 カ MRI a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/18 (木) 2時限 10:40~12:10	MRI (A 班)	E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	池田 耕士 * 渥美 龍雅 * 平原 尚久 小日向 裕太
2026/06/24 (水) 1時限 09:00~10:30	歯科用コーンビームCT・デジタル画像処理法	【授業の一般目標】 将来歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、歯科用コーンビームCT・デジタル画像処理法を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. コーンビームCT の原理を説明できる。 2. コーンビームCT の利点、欠点を説明できる。 3. コーンビームCT 画像を読像できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 歯科用コーンビームCT とは何かを説明できる。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 e CT (単純、造影)、歯科用コーンビームCT  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	* 伊東 浩太郎
2026/06/25 (木) 1時限 09:00~10:30	超音波検査 (A 班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、超音波検査の知識や手技を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 超音波検査法の原理を説明できる。 2. 超音波検査法の正常解剖を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 超音波検査が説明できる。 予習30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、反転授業、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ク 超音波検査 a 原理、特徴、適応  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	* 伊東 浩太郎 * 村岡 宏隆 * 徳永 悟士 * 小松 知広 * 大塚 航平 * 廣島 彰哉 * 金田 隆 * 飯塚 紀仁 * 板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 * 岩田 光司 * 岡田 俊也 岡田 素平 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 * 近藤 匠 * 櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 * 原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 * 村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 * 渥美 龍雅 * 平原 尚久 小日向 裕太
2026/06/25 (木) 2時限 10:40~12:10	超音波検査 (A 班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、超音波検査の知識や手技を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 超音波検査法の原理を説明できる。 2. 超音波検査法の正常解剖を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 超音波検査が説明できる。 予習30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、反転授業、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書  【学修方略 (LS)】	* 伊東 浩太郎 * 村岡 宏隆 * 徳永 悟士 * 小松 知広 * 大塚 航平 * 廣島 彰哉 * 金田 隆 * 飯塚 紀仁 * 板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 * 岩田 光司 * 岡田 俊也 岡田 素平 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/25 (木) 2時限 10:40～12:10	超音波検査 (A 班)	<p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ク 超音波検査 a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/07/01 (水) 1時限 09:00～10:30	MRI	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として適切なMRI検査や機器の管理ができるようになるために、MRIの原理や特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. MRI の原理を説明できる。 2. MRI の障害陰影を列挙し、説明できる。 3. MRI の利点、欠点を説明できる。 4. MR 画像の正常解剖および病的所見が読像できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 MRI とは何かを説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 カ MRI a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎
2026/07/02 (木) 1時限 09:00～10:30	所見作成実習	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、所見作成の知識や手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、所見作成実習、予習30分、テスト形式 マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論III 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/07/02 (木) 2時限 10:40~12:10	所見作成実習	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、所見作成の知識や手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、所見作成実習、予習30分、テスト形式 マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 b 非歯源性嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊已 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/07/08 (水) 1時限 09:00~10:30	超音波検査・核医学検査・IVR	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として適切な超音波検査・核医学検査や機器の管理ができるようになるために、超音波検査・核医学検査・IVRの原理や特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 超音波検査の原理を説明できる。 2. 超音波検査の利点、欠点を説明できる。 3. 核医学検査の原理を説明できる。 4. シンチグラフィおよびSPECT の利点、欠点を説明できる。 5. PET-CT の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 超音波検査とは何かを説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 2 画像検査 ク 超音波検査 a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎
2026/07/09 (木) 1時限 09:00~10:30	〔第3クール〕画像診断実習1	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像診断の知識や手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、所見作成実習、予習30分、テスト形式 マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊已

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/07/09 (木) 1時限 09:00～10:30	〔第3クール〕 画像診断実習1	<p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/07/09 (木) 2時限 10:40～12:10	〔第3クール〕 画像診断実習1	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像診断の知識や手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、所見作成実習、予習30分、テスト形式マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 b 非歯原性嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊己 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/07/15 (水) 1時限 09:00～10:30	正常画像解剖	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として適切な画像診断ができるようになるために、各検査法の正常画像解剖を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口内法エックス線画像の正常画像解剖を説明できる。 2. パノラマエックス線画像の正常画像解剖を説明できる。 3. CTの正常画像解剖を説明できる。 4. MRIの正常画像解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 各検査法の正常画像解剖を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 4 頭頸部の構造 キ 頭頸部の局所解剖 a 画像解剖</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	*徳永 悟士

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/07/16 (木) 1時限 09:00～10:30	画像診断実習 2	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像診断の知識や手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、所見作成実習、予習30分、テスト形式マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/07/16 (木) 2時限 10:40～12:10	画像診断実習 2	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像診断の知識や手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、所見作成実習、予習30分、テスト形式マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 イ 軟組織の損傷の病態・診断・治療 a 口腔軟組織の損傷</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/07/22 (水) 1時限 09:00～10:30	効果的な画像検査法の選択・マルチモダリティによる画像診断	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として適切な画像検査法の選択ができるようになるために、マルチモダリティによる画像診断の特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 診断に効果的な画像検査法を選択できる。 2. マルチモダリティによる画像診断の特徴を説明できる。 3. マルチモダリティによる鑑別診断について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 各種画像検査法の特徴を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p>	*金田 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/07/22 (水) 1時限 09:00～10:30	効果的な画像検査法の選択・マルチモダリティーによる画像診断	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 b エックス線撮影装置、検出器、撮影補助器材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*金田 隆
2026/07/23 (木) 1時限 09:00～10:30	画像診断実習 3	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像診断の知識や手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，所見作成実習，予習30分，テスト形式 マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線撮影</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/07/23 (木) 2時限 10:40～12:10	画像診断実習 3	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像診断の知識や手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，所見作成実習，予習30分，テスト形式 マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線撮影</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平 *廣島 彰哉 *金田 隆 *飯塚 紀仁 *板倉 剛 一木 俊吾 岩崎 正 *岩田 光司 *岡田 俊也 岡田 素平太 小川 秀仁 小椋 一朗 小倉 千春 小澤 薫 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 *近藤 匠 *櫻田 雅彦 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 能田 茉莉江 *原 慶宜 福田 大河 松下 寛 箕輪 和行 *村松 輝晃 山城 光明 日野 絵理 池田 耕士 *渥美 龍雅 *平原 尚久 小日向 裕太
2026/08/19 (水) 1時限 09:00～10:30	平常試験	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、放射線や画像検査の特徴を理解する。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	平常試験	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 ここまでの講義内容についての試験。 遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 試験の結果を参照し、解説やフィードバックを行う。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ア エックス線画像の原理 a 電離放射線</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ②放射線の人体（胎児を含む）への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。 ④エックス線画像の形成原理（画像不良の原因を含む）を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	<p>*小松 知広 *大塚 航平</p>
2026/08/20 (木) 1時限 09:00～10:30	放射線学実習試験	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、放射線や画像検査の知識や手技を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ここまでの講義内容についての試験。 遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 試験結果を参照し、解説やフィードバックを行う。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ア エックス線画像の原理 b 放射線の単位・測定</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ②放射線の人体（胎児を含む）への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。 ④エックス線画像の形成原理（画像不良の原因を含む）を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	<p>*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平</p>
2026/08/20 (木) 2時限 10:40～12:10	放射線学実習試験	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、放射線や画像検査の知識や手技を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ここまでの講義内容についての試験。 遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 試験結果を参照し、解説やフィードバックを行う。</p> <p>【学修方略（LS）】</p>	<p>*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/08/20 (木) 2時限 10:40～12:10	放射線学実習試験	<p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ア エックス線画像の原理 a 電離放射線</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ②放射線の人体（胎児を含む）への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。 ④エックス線画像の形成原理（画像不良の原因と含む）を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	<p>*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平</p>
2026/09/11 (金) 1時限 09:00～10:30	エックス線診断の基礎	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、エックス線診断の基礎を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. レントゲンサインの説明ができる。 2. エックス線検査の限界を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 エックス線検査による鑑別診断ができる。 予習30分(2020/4/22)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、反転授業、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ア エックス線画像の原理 a 電離放射線</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ④エックス線画像の形成原理（画像不良の原因と含む）を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	<p>*金田 隆</p>
2026/09/18 (金) 1時限 09:00～10:30	顎骨嚢胞の画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、顎骨嚢胞の画像診断の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎骨の嚢胞の鑑別診断ができる。 2. 適切な画像検査法を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎骨の嚢胞の特徴像を説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、反転授業、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論III 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療</p>	<p>*伊東 浩太郎</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/18 (金) 1時限 09:00～10:30	顎骨嚢胞の画像診断	オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞 ①口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の種類と特徴を説明できる。 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。	*伊東 浩太郎
2026/09/25 (金) 1時限 09:00～10:30	歯原性および非歯原性良性腫瘍の画像診断	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、顎骨良性腫瘍の画像診断の知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 顎骨の良性腫瘍の鑑別診断ができる。 2. 適切な画像検査法を選択できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 顎骨の良性腫瘍の特徴像を説明できる。 予習30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 有, 反転授業, 予習30分 マルチメディア, プリント  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ①口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法 (細胞診、組織診、画像診断) 及び治療法を説明できる。	*徳永 悟士
2026/10/02 (金) 1時限 09:00～10:30	歯および歯周組織の病変の画像診断	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、歯および歯周組織の病変の画像診断の知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 画像による歯周組織の病態像を説明できる。 2. 画像による歯の病態像を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 歯および歯周組織の病変の適切な画像検査法を選択できる。 予習30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 有, 反転授業, 予習30分 マルチメディア, プリント  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 g 歯周-歯内病変  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 ①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。	*伊東 浩太郎
2026/10/09 (金) 1時限 09:00～10:30	顎口腔領域の外傷・炎症性疾患の画像診断	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、顎口腔領域の外傷・炎症性疾患の画像診断の知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】	*徳永 悟士

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/09 (金) 1時限 09:00～10:30	顎口腔領域の外傷・炎症性疾患の画像診断	<p>1. 顎口腔領域の炎症性疾患を説明できる。 2. 顎口腔領域の外傷の画像診断を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔領域の外傷・炎症性疾患の画像診断を選択できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（ディスカッション） 学修媒体：マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 h 顎骨周囲軟組織の炎症</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症 ③炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 ⑥主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、蜂窩織炎、歯性上顎洞炎等）の症状と治療法を説明できる。 E-2-4) - (2) 外傷 ③歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。 ④顎顔面骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。</p>	*徳永 悟士
2026/10/16 (金) 1時限 09:00～10:30	顎関節の画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、顎関節の画像診断の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 適切な画像検査法を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎関節疾患の特徴像を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，反転授業，予習30分 マルチメディア，プリント</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 顎関節疾患 ①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 ②顎関節疾患（発育異常、外傷、炎症、退行性顎関節疾患、顎関節症、顎関節強直症、腫瘍及び腫瘍類似疾患）の症状、診断法及び治療法を説明できる。</p>	*大塚 航平
2026/10/23 (金) 1時限 09:00～10:30	顎口腔領域の正常画像解剖	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、正常画像解剖の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. CT、MRIの画像解剖を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 正常画像解剖を列挙できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，反転授業，予習30分 マルチメディア，プリント</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論</p>	池田 耕士 *徳永 悟士

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/23 (金) 1時限 09:00～10:30	顎口腔領域の正常 画像解剖	総論Ⅵ 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ①頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を説明できる。 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。	池田 耕士 *徳永 悟士
2026/10/30 (金) 1時限 09:00～10:30	画像診断試験 1	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像診断の知識や手技を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 画像診断について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ここまでの講義内容についての試験。遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 試験 アクティブラーニング：有 試験の解説やフィードバックを行う。  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 e CT (単純、造影)、歯科用コーンビームCT  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平
2026/11/13 (金) 1時限 09:00～10:30	インプラントの画像診断	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、インプラントの画像診断の知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. インプラントの適応が説明できる。 2. インプラントの臨床応用を列挙できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 インプラントに必要な画像検査法を列挙できる。 予習30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有, ディスカッション, 予習30分 マルチメディア, プリント  【学修方略 (LS)】 演習  【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ インプラント義歯の設計 b 埋入計画の立案  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	月岡 庸之
2026/11/20 (金) 1時限 09:00～10:30	歯科用コーンビームCTの基礎および臨床	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、歯科用コーンビームCTの基礎および応用の知識を理解する。  【行動目標 (SBOs)】	*小松 知広

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/20 (金) 1時限 09:00～10:30	歯科用コーンビームCTの基礎および臨床	<p>1. 歯科用CBCTの基礎および臨床を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯科用コーンビームCTの基礎および臨床を説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，反転授業，予習30分 マルチメディア，プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 e CT（単純、造影）、歯科用コーンビームCT</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*小松 知広
2026/11/27 (金) 1時限 09:00～10:30	核医学検査および超音波検査	<p>【授業の一般目標】 核医学検査、超音波検査の原理や特徴を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 核医学検査の原理を説明できる 2. 超音波検査の原理が理解できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 核医学検査、超音波検査を説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，反転授業，予習30分 マルチメディア，プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 キ 核医学検査 a 原理、特徴、順応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging &lt;MRI&gt;)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	小椋 一郎
2026/12/04 (金) 1時限 09:00～10:30	口腔領域の放射線治療	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口腔領域の放射線治療の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口腔領域の放射線治療の意義と目的を説明できる。 2. 口腔領域の放射線治療の種類、適応、特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口腔領域の放射線治療の原理を説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，反転授業，予習30分 マルチメディア，プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VII 治療 7 放射線療法 イ 口腔領域の放射線療法 a 治療の意義と目的</p>	箕輪 和行

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/04 (金) 1時限 09:00～10:30	口腔領域の放射線治療	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imagin g &lt;MRI&gt;)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法(細胞診、組織診、画像診断)及び治療法を説明できる。</p>	箕輪 和行
2026/12/11 (金) 1時限 09:00～10:30	悪性腫瘍の画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、悪性腫瘍の画像診断の知識を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 口腔領域の悪性腫瘍の進展経路を説明できる。 2. 適切な画像検査法を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 悪性腫瘍の特徴像を説明できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:有, 反転授業, 予習30分 マルチメディア, プリント</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 c 口腔癌</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法(細胞診、組織診、画像診断)及び治療法を説明できる。 ④腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。</p>	*徳永 悟士
2026/12/18 (金) 1時限 09:00～10:30	唾液腺および頸部疾患の画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、唾液腺および頸部疾患の画像診断の知識を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 唾液腺疾患の適切な画像検査法を選択できる。 2. 唾液腺疾患の鑑別診断ができる。 3. 頸部腫瘍の適切な画像検査法を選択できる。 4. 頸部腫瘍の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 唾液腺疾患および頸部疾患の画像検査法を列挙できる。 予習30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:有, 反転授業, 予習30分 マルチメディア, プリント</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ①口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法(細胞診、組織診、画像診断)及び治療法を説明できる。 E-2-4) - (8) 唾液腺疾患 ②唾石症の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 ③唾液腺炎の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 ④唾液腺腫瘍の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4) - (5) 嚢胞 ①口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の種類と特徴を説明できる。</p>	*徳永 悟士

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/18 (金) 1時限 09:00～10:30	唾液腺および頸部疾患の画像診断	②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。	*徳永 悟士
2026/12/25 (金) 1時限 09:00～10:30	画像診断試験2	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像診断の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 画像診断について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ここまでの講義内容についての試験。遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 試験 アクティブラーニング：有 試験の解説、フィードバックを行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imagin g &lt;MRI&gt;) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平
2027/01/15 (金) 1時限 09:00～10:30	平常試験	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、放射線や画像診断の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 画像診断について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ここまでの講義内容についての試験。 遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 試験 アクティブラーニング：有 試験結果を参照し、解説やフィードバックを行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ②放射線の人体 (胎児を含む) への影響の特徴 (急性影響と晩発影響等) を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。 ④エックス線画像の形成原理 (画像不良の原因と含む) を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography &lt;CT&gt;)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imagin g &lt;MRI&gt;) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*伊東 浩太郎 *村岡 宏隆 *徳永 悟士 *小松 知広 *大塚 航平